

災害に強いまちづくりに向けて
活発な提案

安全・安心特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

「災害時応援協定の締結について」、「避難所運営マニュアル(案)の策定について」、「苫小牧市地域防災計画及び苫小牧市水防計画の改正案について」、「苫小牧市災害時備蓄計画(案)の策定について」が示され、各委員から町内会への丁寧な説明や、福祉避難所での訓練実施、トイレの使用がでなくなった場合の下水道管路の活用策など、積極的な提案がありました。

また、その他事項で国が推進する「事前復興計画」策定の現状について質問があり、47都道府県20政令都市のうち24自治体で策定されている一方、北海道では確立されていないことが報告され、次の委員会で24自治体の資料を配布することにになりました。

なお、4月からは当委員会の所管に(仮称)市民ホールの建設に関する事項が加わることになり、『安全・安心特別委員会』は『安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会』になりました。

予算審査特別委員会

一般会計

松井 雅宏 委員長

3月8日から15日までの間、延べ54名の委員が質疑に立ち、新年度の事業やまちづくり施策に対して活発な議論が展開されました。

本予算には、人口減少時代に対応するための本格的な取り組みとして24事業15億7千万円の予算が計上されており、多くの市民も注目されていたのではないかと思います。

予算案については、各委員から厳しい指摘や多くの提案がなされた後、全会派一致で原案どおり可決しました。

一 般 会 計	
委員長	松井 雅宏
副委員長	宇野 哲太郎
委員	○ 宇野 哲太郎
	○ 松井 雅宏
	○ 小野寺 幸恵
	○ 松井 雅宏
	○ 阿久津 修光
	○ 富岡 征三
	○ 小山 隆三

(○印は理事)

企業会計

岩田 典一 委員長

3月8日から15日(土・日曜日、議案検討日1日を除く)まで、5日間の日程で、特別会計・企業会計事業予算案、並びに関連議案について慎重審議を行い、延べ48名の委員の的確な質問と理事者側の明快な答弁で無事終了することが出来ました。結果、市立病院事業について、医療収益の伸び悩み、医療経費の増大、又、診療報酬改定の影響など大変厳しい状況であり、付帯決議を付し、全会派一致をもって、原案どおり可決しました。

企 業 会 計	
委員長	岩田 典一
副委員長	○ 岩田 典一
委員	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一
	○ 岩田 典一

(○印は理事)

市議会トピックス

議会改革検討会では、次の事項が協議されました。

- ① 議会基本条例については、今後も研修会等を開催することになりました。
 - ② 議員定数及び議員報酬については、他市の状況も含め検討していきます。
 - ③ 閉会中の委員会の開催については議会の承認が得られれば、委員会を開催できるとしました。
 - ④ 議会の災害時対応マニュアルの作成については、議会改革検討会の実務者会議で作成した「苫小牧市議会災害時対応マニュアル」を平成28年4月1日から施行します。
 - ⑤ 議会フェイスブックの開設、及び議会のICT化の推進については検討項目とする事を各会派代表が了承しました。
- 一問一答方式の検証結果等については、裏表紙に詳細を掲載しています。